

2023 四国大学サッカートーナメント Match Report

兼 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント四国地区予選

1 回戦 < 2部同士の負けられない戦い! >

6.24 Sat

 高知工科大学 1-2 徳島大学 

高知工科大は⑩廣田のゴールで先制するも、徳島大は、前半のうちに⑧平松のゴールで追いつくと52分⑩木内のゴールで逆転!その後、互いに積極的な交代策もゴールに繋がらず徳島大が2回戦へ

 香川大学 2延長4 鳴門教育大学 

香川大は42分⑦高原、65分⑩高橋が決めてリードを2点に広げる。鳴門教育大は83分⑩小宮、90+1分⑤田内のゴールで追いつくと、延長後半⑩小宮のゴールで勝越し、鳴門教育大が2回戦へ

2 回戦 < 1部 vs 2部、1部同士の譲れない戦い >

7.1 Sat - 7.2 Sun

 徳島大学 9-0 聖カタリナ大学 

聖カタリナ大は、前半からボールを保持し圧倒すると21分⑬池原のゴールを皮切りに前半3発、後半は途中出場⑨梶原の4ゴールを含む6発大勝!



 高松大学 8-0 鳴門教育大学 



高松大は、6分⑨矢野瑛のゴールで幸先よく先制すると、セットプレーや前線からの守備などから得点を重ね、⑩矢野佑のハットトリックを含む8発で大勝!

 高知大学 2-1 四国学院大学 

前半、シュートが多かったのは四国学院大だったが、66分高知大は、右サイドを粘り強く繋ぐと⑳笹岡が決めて先制!さらに83分⑨朝岡のゴールで突き放す。しかし、四国学院大も90分⑥主将 小村のゴールで食い下がるも高知大が逃げ切った。



 松山大学 0 (3PK5) 0 愛媛大学 



前半は、愛媛大が攻めるも、徐々に松山大の時間が増えてくるが、互いに得点は生まれず、延長戦となると延長でも松山大がシュートに繋げる機会が多いものの愛媛大が粘りの守備で応戦しPK戦へ。PK戦は、松山大4人目が決めきれないなか、愛媛大は5人全員が決めて準決勝へコマを進めた。

準決勝<伝統とプライド>

7.8 Sat

 愛媛大学 0-3 聖カタリナ大学 

粘り強く守っていた愛媛大だが、聖カタリナ大は41分 ⑪玉井のゴールで先制すると、後半はコーナーキックから2点を追加するとそのまま逃げ切りに成功した。愛媛大は、終盤までロースコアで進めたいところだったが、要所でのミスで思うようにゲームをコントロールできなかった。



 高松大学 1 延長0 高知大学 



前半、高知大が試合の主導権を握るもスコアレスで折り返す。前半シュート0本だった高松大が徐々にらしさを発揮しシュートまで持ち込むもゴールは生まれず延長戦へ。スコアが動いたのは延長前半、CKから高松大⑤辻岡が決めて先制！高知大は、延長後半だけでシュート5本を放つも万事休す。

3位決定戦<巧者 vs 粘り>

7.15 Sat

 高知大学 3-0 愛媛大学 

高知大は、開始1分速攻から⑨朝岡が決めて先制すると試合をうまくコントロールし始める。愛媛大はロングシュートやセットプレーから反撃を伺うも、高知大は58分、90+1分にも⑩原田が追加点をあげて3位で大会を終えた。



決勝<5年ぶり2回目×初優勝>

7.15 Sat

 高松大学 2-0 聖カタリナ大学 



高松大は開始5分、CKから②赤星が自らのシュートのこぼれ球を決めて先制すると18分にはFKを⑦小松が直接決めてリードを広げる。初優勝に闘志を燃やす聖カタリナ大は、後半積極的な交代策で得点を狙うも最後のところで守り切られ、序盤に得点をあげた高松大が5年ぶり2回目の優勝を決めた。